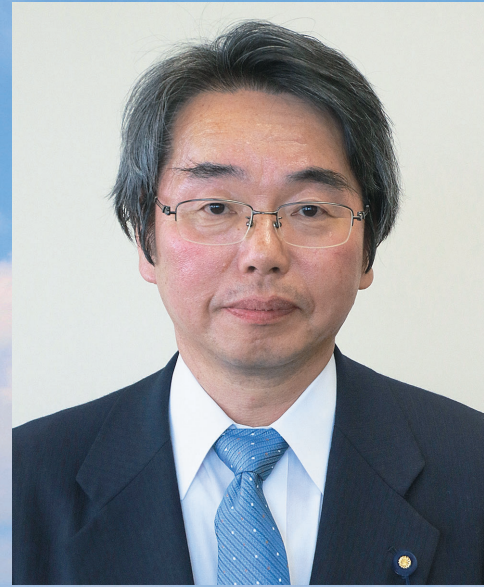


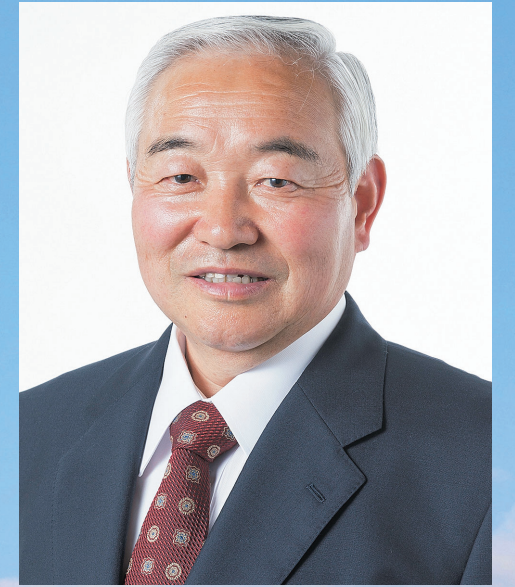
迎

春



行財政を あらゆる角度から しっかりと審議していく

平泉町議会議長 佐藤 孝悟



町民と共に まちづくりを

平泉町長 青木 幸保

謹んで新年のお慶びを申し上げます。皆さまにおかれましては、穏やかなお正月を迎えられたことと思います。

また、日ごろより議会活動にご協力を賜り心からお礼申し上げます。

さて、昨年は春先から天候不順ということで作物の出来具合が心配されました。米については「やや良」ということですが、農家の皆さまに伺いますと決して良い作柄ではなかったとも聞きます。西日本におきましては7月豪雨、8月には台風被害、そして9月には北海道胆振東部地震と災害地においては大変な一年であったと思います。

スポーツ界におきましては、岩手県の若者が世界のアスリートとして活躍しております。大リーガーの大谷翔平選手をはじめとし、スノーボードでは岩淵麗菜選手、スキージャンプの小林陵侖選手など一流選手として確かな地位を築いております。彼らの存在が子どもたちに夢を与え、やがては次世代のアスリートを生み出す力となるものと期待できます。かつて「この町からプロ野球選手を出したい」と頑張っていた人がおりました。我々大人の役割は、そのような若者を輩出できる、その環境づくりに力を注ぐことであると考えます。

当町におきましては、一関市・奥州市・平泉町と2市1町での「東稲山麓地域」の農業遺産の認定が今回はかないませんでした。

同様に世界遺産の拡張登録推薦書の提出についても、さらに調査が必要であることから見送られました。

しかしそのような中、岩手県では以前より計画されていた「平泉の文化遺産」ガイドンス施設(仮称)の整備に踏み出しました。現在の柳之御所資料館が建設場所であることから、「道の駅平泉」も含めた、よりにぎわいのあるエリアになることが期待されます。開館予定が世界遺産登録10周年の年でもあり多くの来町者が見込まれます。

町内事業としては、現在進行中のスマートインターチェンジの整備と、その周辺開発、これから建設される新社会教育施設と大型事業が始まります。財政状況を心配する声もありますが、議会としても、十分な調査を行い、慎重に判断してまいりたいと思います。

議会は、町民の皆さまが議会に関心を持てる活動をしていかなければなりません。昨年は、各行政区で開催された議会報告会での「意見・要望」を取りまとめ町に提出し、その回答を各行政区長に報告いたしました。このような活動に、より多くの皆さまに参加していただければと思います。

結びになりますが、平泉町にとりまして素晴らしい年でありまして、皆さま方のご健勝ご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のあいさついたします。

新年に当たり、ごあいさつを申し上げます。皆さまには、新たな希望を胸に新春を迎えたこととお慶び申し上げます。また日ごろより町政に對しましてご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。

本年は、未曾有の被害をもたらした東日本大震災から8年目を迎えますが、ラグビーワールドカップ2019の釜石開催や、三陸防災復興プロジェクト2019が執り行われることから、当町といたしましても復興の後押しを行ってまいります。

さて、昨年は、当町に企業立地している株式会社松栄堂が販売する平泉産のもち米を使った菓子「平泉黄金餅」、第14区が行っている買い物困難者へのボランティア活動がそれぞれ全国表彰を受け、また世界遺産平泉・関DMOの設立、さらに東北初となるものづくりの現場を公開するオープンファクトリー五感市が開催されるなど、民間の活力が存分に発揮された一年だったと感じております。

庁舎内を顧みますと、小さなことではあります。が、町民の皆さまからご要望が多かった防災無線の取扱者に多数の女性職員を登用することに始まり、20代から40代の若い世代から意見を聞く若者会議の設置、町の政策全てをチェックし改善につなげる政策評価を実施いたしました。今後もこのような取り組みを推進し、より良いまちづくりにつなげてまいります。

また、宮城県栗原市、登米市、一関市との県際連携、秋田県大館市、横手市、美郷町との奥州藤原氏関係連携、さらに義経・与一・弁慶・静・継信・忠信合同サミットin平泉が開催されるなど、広域連携が進んだ年でもありました。2年後に迫った世界遺産登録

10周年を見据え、より連携を強化いたします。今年はいよいよ大型事業が目に見え始めます。民間活力を活用して建設することとした公民館と図書館につきましては、ご意見を頂戴しながら、設計施工業者を選定いたしますとともに、建設する用地の買収・発掘調査を実施いたします。

平泉スマートインターチェンジの建設工事は、本格化したと見られ、周辺の開発につきましましては、情報発信に努めながら推進してまいります。

新平泉町総合計画後期基本計画におきましては、最終年の前の4年目に当たります。そのためこれまでの目標の達成状況を細かく分析するなど、総括に向けた取り組みを推進し、2021年から10年間の基本構想、前期基本計画の策定に取り掛かります。

若者会議からの意見ですが、やはり働く場の確保は当町にとっての大きな課題といえます。人口減少に歯止めをかけるためにも、今年は企業誘致に特にも力を入れてまいります。その一方で企業側からは、雇用の確保をお願いされております。皆さまのご子息の中でUターンを希望する人がいれば、ご相談ください幸いです。

交通弱者対策につきましては、官民一体となつて進めてまいります。特にも患者送迎バスのルートの見直しを検討し、より多くの方々への移動手段の確保に努めます。

このように、今年も町民と共にまちづくりを進めていく所存ですので、今後ともお力添えをお願い申し上げます。

結びに、本年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈りいたします。